令和７年２月
第70号

公立置賜総合病院

医療連携だより

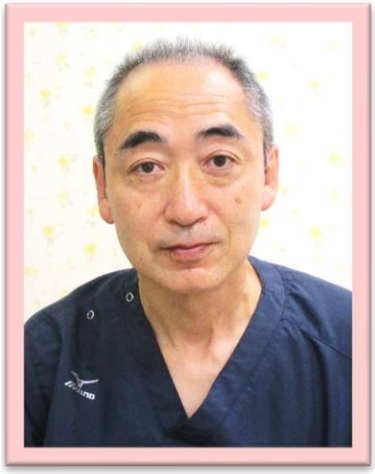
「小児科医療連携について」
副院長(兼)
診療部長(内科系二)(兼)
小児科統括科長(兼)
医療連携部長
仙道　大
･･･1

公立置賜総合病院登録医総会
開催報告
･･･2

出前講座のご報告
･･･2

小児科医療連携について

副院長（兼）医療連携部長　仙道　大



地域医療機関、関係機関の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。本年度より医療連携部長を拝命いたしました仙道と申します。当院には 2010 年に赴任しました。私の専門分野である小児科医療連携についてお話させていただきます。

ご存じのように、小児人口は減少の一途をたどり、当院の小児外来患者数も年々減少しております。しかしながら、小児を取り巻く環境は以前より複雑化しており、それに伴い新たな課題が顕在化してきています。

その一つが不登校です。不登校の児童生徒数は近年増加傾向にあり、友人関係の不和や夜間のスマートフォン利用などが主な原因として挙げられます。不登校の子どもたちは医療機関を訪れることが多く、小児科医として対応が求められます。ただし、小児科医単独で対応できる範囲には限りがあり、精神科医や学校関係者との連携が重要です。

また、児童虐待も大きな社会問題として増加しています。虐待が疑われる事例では早期発見が何より重要です。当院では、出産後の養育に課題があると認められる妊婦を特定妊婦として登録し、産前・産後を通じた支援を実施しています。このような予防的アプローチを通じて、虐待のリスクを軽減し、母子の健全な育成を支援しております。

その他、乳幼児健診、医療的ケア児の診療、成人移行期医療、救急医療等の分野でも関係機関と連携を図りながら診療しております。

不登校や児童虐待の背景には、社会的な孤立が大きな要因として存在しています。孤立している子どもや家庭に対して、周囲が声をかけやすい環境を作り、信頼関係を構築することが必要不可欠です。このような取り組みを通じて、心かよう信頼と安心の医療を提供し続けていきたいと考えています。

地域医療機関、関係機関の皆様との連携は、私たちにとって欠かせないものです。今後ともご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公立置賜総合病院登録医総会　開催報告

（第２回　公立置賜総合病院医療連携推進協議会）

令和６年 10 月 10 日（木）18:30～ 於:熊野大社證誠殿（南陽市宮内）

去る令和６年 10 月 10 日（木）、令和６年度公立置賜総合病院登録医総会を開催しました。昨年に続き、院外 33 名、院内 15 名と多くの医師、歯科医師の皆様にご出席いただきました。

当院の登録医制度ですが、令和６年度登録医総会開催時点で置賜地域 144 の医科診療所、歯科診療所のご登録をいただいております。登録医の先生方におかれましては、日頃より当院と紹介、逆紹介をはじめ多くの連携にご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

-特別公演-「総合診療について」

診療部長（総合診療科）（兼）医療連携副部長　髙橋 潤 先生

総合診療科医の経験を踏まえ、御講演いただきました。
ありがとうございました。

―出前講座のご報告―

当院では出前講座を行っています。
ご検討の際は一度ご相談ください。

令和６年度実績　※令和７年１月末現在

感染症関連：９件　　認知症関連（予防、ケア）：３件
ACP、終末期、在宅看取りについて：４件
パーキンソン病について：１件　　嚥下予防の介助：１件
腎臓疾患、透析利用者の生活向上：１件

会議後は懇親会を行いました

置賜広域病院企業団
公立置賜総合病院
〒992-0601
山形県東置賜郡川西町大字西大塚 2000 番地

医療連携･相談室
TEL：0238-46-5000（代表）
FAX：0238-46-5721（退院支援･精神･連携部門）
FAX：0238-46-5030（相談･入院支援部門）
E-mail：renkei@okitama-hp.or.jp

予約センター（直通）
TEL:0238-46-5700
FAX:0238-46-5722